

6 竹林

(1) 森林と違った性質

竹林はもともと林床植物が少ない特徴があります。ササの枯れ葉は分解しにくく厚く堆積することからこうした特徴を持っています。また新しい竹が毎年発生しますし、数年で枯れてゆきますので、放置状態の竹は文字どおり竹藪になってしまいます。森林の管理以上に多くの労力がかかりますがその割りに生物の多様性は低い特徴と、独特の景観が得られます。

(2) 竹林を管理する

枯れた竹を外に搬出します。

十分な管理を行い、本数密度を小さくすると竹の太さは大きくなってゆきます。また反対に密度が大きくなると細くなります。太い竹、細い竹はそれぞれに利用できますので、目的に応じた管理を行います。

太い竹を作る場合、竹間を1.5～2mくらいに調整します。この程度の密度ですと、植生の回復も大きくなります。

竹は重くないので一本ずつ運びます。また、枝を取ると、先端を持って数本まとめて運ぶこともできます。不要な竿や枝条はチップにします。チップは径路補修材などに使います。



市民によって手入れされているモウソウチク林



放置されたモウソウチク林



竹材をまとめて運ぶ



竹林の管理作業